

ものづくり表彰2018 表彰企業

1. 東京商工会議所品川支部推薦企業

(有)ミナガワ

所在地 品川区南大井3-21-11
代表者名 皆川 祐一 氏 (代表取締役)
事業 高圧ホースアダプター、喰い込み継手、配管継手の販売、加工
URL <https://www.mics.city.shinagawa.tokyo.jp/indust/indust1020.html>

エムエステクニカルプロダクツ(株)

所在地 品川区荏原6-6-11
代表者名 森田 俊男 氏 (代表取締役)
事業 超硬丸棒センターレス研磨加工、超硬サーフェイス平研磨加工など
URL <http://www.mstproduct.com/>

2. 一般社団法人品川産業協会推薦企業

(株)泰信製作所

所在地 品川区南大井3-2-9
代表者名 林田 由加里 氏 (代表取締役)
事業 精密試作板金
URL <http://taishin-shokunin.jp/>

(株)荏原計器製作所

所在地 品川区小山台1-2-4
代表者名 中村 泰士氏 (代表取締役)
事業 温度計、電圧計の設計・製造・販売
URL <http://www.ebara-keiki.co.jp>

3. 東京中小企業家同友会品川支部推薦企業

トランステック(株)

所在地 品川区東五反田1-11-15
代表者名 本田 浩範 氏 (代表取締役)
事業 環境関連測定器を中心とした電子機器の輸入販売、保守サービスなど
URL <http://www.transtech.co.jp/>

コトブキホームグループ(コトブキホームセンター+コトブキホームビルダー)

所在地 品川区小山6-1-6
代表者名 林 学文 氏 (代表取締役)
事業 不動産管理+高耐震・高気密・高断熱住宅の開発設計・施工
URL <https://www.kotobuki-hs.com/>
<http://www.kotobuki-hb.jp/>

高圧油圧ホース用アダプター専門会社

東京商工会議所品川支部推薦企業



代表取締役 皆川 祐一

会社概要

本社

品川区南大井 3-21-11

TEL

03-3763-7454

FAX

03-3763-7455

E-mail

info@e-minagawa.co.jp

創業年

1986年

資本金

1,200万円

従業員

12人

事業内容

主要営業品目

高圧油圧ホース用

アダプター

特徴

- ・5000種の在庫による要望に応じた供給を実現
- ・一品から受注

標準品、特殊品 5000種の在庫によるワンストップ対応

創業以来、あらゆる油圧機器に不可欠な高圧ホース用アダプターの専門会社として、標準品から特殊品まで、高品質のアダプターを供給することで得意先の高い信頼を得ている。当社のような高圧ホース用アダプターを専門に取り扱う会社は国内では極めて少ない。

常に標準品、特殊品を含め5000種の在庫を抱え、短納期、小ロット（1品から）といった得意先の多様な発注に応えられるワンストップ供給体制を整えている。



高圧ホース用アダプター
(規格R、Rc、G、UNF、M、DIN等)



高圧ホース用Oリング止アダプター
(規格 G、R、UNF、M)



5000種のアダプターの在庫状況(年間10000種以上の取扱)

高圧ホース用アダプターは、ショベルカー、ブルドーザー、高所作業車、清掃車などの特殊車両、工作機械、油圧エレベーター、医療用ベッドと、現在社会に欠かすことのできない様々な機器を支えている。

社内設計・検査体制と加工ネットワークによる高品質を実現

約30社の機械加工業者とネットワークを形成しており、シート面など規格に対応した設計を社内で行い加工を外注している。外注先の設備、加工技術を熟知した上で発注するため、加工精度やばらつきに問題はなく、最終検査も社内で行うため、高い品質を確保している。

高精度研磨加工のスペシャリスト

東京商工会議所品川支部推薦企業



代表取締役 森田 俊男

会社概要

本社

品川区荏原 6-6-11

TEL 03-3788-8331

FAX 03-3788-8332

E-mail

mstechnicalproduct@tulip.

ocn.ne.jp

URL

<http://www.mstproduct.com>

/company.html

創業年

1991 年

資本金

1,800 万円

従業員

8 人

事業内容

主要営業品目

- ・ 丸棒研磨加工
(刃物、固定ピン)
- ・ プリント基板外形加工用
ルーター・エンドミルの
再研磨

主要設備

センターレス研削盤、研削
盤、デッドツール、切断機

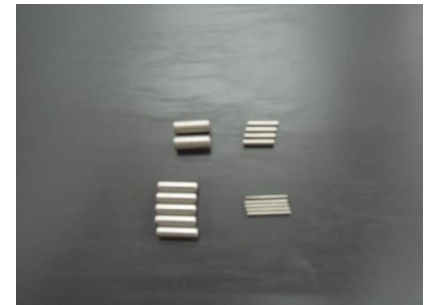
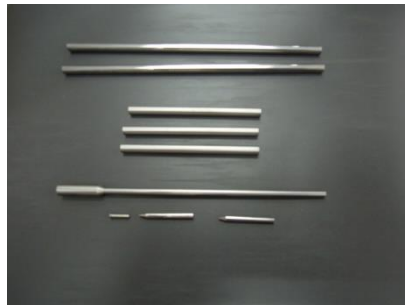
特徴

- ・ 高精度研磨加工技術
- ・ 研磨加工技術を応用した
加工装置開発

ノウハウを凝縮した高精度研磨加工技術

創業当初より研磨加工を手掛けており、以来、技術の高精度化に取り組んできている。現在は丸棒を材料とした加工用刃物の研磨加工、固定ピンの研磨加工を手掛けている。固定ピンは直径 0.3mm~6.0mm の範囲で 0.01mm 単位で直径の異なる加工を行っている。

超硬合金、より高い加工技術を必要とするサーメット（セラミクスと金属の複合材料）の研磨加工を手掛けている。また、丸棒のほか四角、三角の研磨加工にも対応可能である。



丸棒の研磨加工品(刃物用丸棒、固定ピン)

研磨加工技術を活かした独自の再研磨装置の開発

研磨加工技術を活かして、プリント基板外形加工用ルーター・エンドミルの再研磨用装置（半自動機）を独自開発し、熟練技を必要としない再研磨加工を実現している。

加工精度はメーカー公差基準 ± 0.0005 より厳しい ± 0.0001 を社内基準として設定している。そのため 20 年間納品不良ゼロを実現している。

ルーター・エンドミルの再研磨はリサイクルによるコスト削減、生産性の向上にも貢献している。



独自開発したプリント基板外形加工用ルーター・エンドミルの再研磨用装置

オートバイ開発を支える精密試作板金加工業

一般社団法人品川産業協会推薦企業

会社概要

代表取締役 林田 由加里

本社

品川区南大井 3-2-9

TEL

03-3761-5361

E-mail

info@taishin-shokunin.jp

URL

<https://www.taishin-shokunin.jp/>

創業年

1945年

資本金

1,000万円

従業員

12人

事業内容

主要営業品目

精密試作板金

(二輪車レース用部品及び
テスト・開発部品の製作)

主要設備

レーザー加工機、ワイヤー
放電加工機、油圧プレス、
ベンダー、溶接機、旋盤、
フライス盤、シャーリング
等

特徴

- ・汎用工作機を駆使し高精度小ロット生産への対応
- ・精密板金加工工程の内製化(曲げ、溶接、プレス絞り加工、型・治具製作)

一次協力会社として長年の取引を実現する高い信頼性

創業以来、大手メーカーの一次協力会社として、精密板金加工によるオートバイのレース用部品、試作・開発用部品の製作を手掛けてきている。それら部品の多くはエンジンフレーム関連の部品である。

長年にわたり技術の改良を重ねてきており、高精度な精密試作板金加工技術を保有している。これまでに取引先である大手メーカーから、数々の表彰を受けながら、取引は現在も継続している。それは技術に対する高い信頼性の証といえる。

一貫した社内対応による高品質、短納期、適正価格を維持

曲げ加工、溶接、プレス絞り加工、型・治具製作までの工程をすべて社内で行っており、高精度で高品質な部品加工を実現している。また、豊富な経験と高いノウハウを備えた職人が汎用工作機を駆使して、高品質な部品加工を短時間で実現している。



型や治具の内製化によりスピーディな生産性を実現

製作する部品はほとんどが手のひらサイズの部品であり、1点モノや一個からの小ロットがほとんどである。必要な生産性を確保し、要求される品質、納期、適正価格を実現する上で、加工に用いる型や治具も重要な要素となる。

新規形状の部品製作依頼が多く、加工工程を熟知する職人たちが、常に最善の加工方法を検討するので、若手の技術力向上にもつながっている。



株式会社 荏原計器製作所

ものづくり表彰

2018 品川ビジネススクラブ
Shinagawa Business Club

温度計、圧力計の専門メーカー

一般社団法人品川産業協会推薦企業

会社概要

代表取締役 中村 泰士

本社

品川区小山台 1-2-4

TEL

03-3714-4561

FAX

03-3710-1523

URL

<http://www.ebara-keiki.co.jp>

創業年

1958 年

資本金

1,400 万円

従業員

17 人

事業内容

主要営業品目

温度計、圧力計、圧力
センサ

主要設備

NC 旋盤、フライス盤、研磨
盤、溶接機、切断機

特徴

自社ブランド製品

一品からオーダーメイド

ノウハウを凝縮した幅広い自社ブランド品のラインナップ

創業当初からブルドン管を利用したアナログ温度計、圧力計を手掛けており、長年にわたり培ったノウハウを凝縮した幅広い自社ブランド品をラインナップしている。

当社製品は、産業用計器として各業界にご利用頂いており、特に食品・医薬品業界に特化してサニタリー温度計・圧力計が多く利用されている。

顧客のニーズに基づく付属品も多数取り揃えており、高い対応力を実現している。

またアナログ計器のほか、現場での省力化の需要に応え圧力センサも取り扱っている。



継続した製品開発による顧客ニーズへの対応力強化

取引を通じて収集される情報を分析し、センサ技術、アナログ技術などの要素技術開発も合わせて行い、顧客のニーズへの対応力を強化し続けている。例えば、シーケンサーに取り込むことが可能な 4~20mA の出力機能をもつハイブリッド型アナログ温度発信計及び圧力発信計、また多機能な LED デジタル温度計及び圧力計を製品化している。最も新しい製品として液晶デジタル温度指示発信計も開発し製品化している。



製造現場を支える環境測定の特化スペシャリスト

東京中小企業家同友会品川支部推薦企業

会社概要

代表取締役 本田 浩範

本社

品川区東五反田 1-11-15

電波ビル 3F

TEL

03-5475-5656

FAX

03-5420-0510

URL

<http://www.transtech.co.jp/>

創業年

1984 年

資本金

6,335 万円

従業員

27 人

事業内容

主要営業品目

- ・環境関連測定器を中心とした電子機器の輸入販売、保守サービス
- ・付帯ソフトウェアの輸入、開発、販売
- ・クリーンルームの清浄度連続監視システムなどのシステムソリューションの提供

特徴

- ・環境測定に関する豊富な経験と高度なノウハウを保有
- ・経験とノウハウを活かした独自製品の開発

経験とノウハウを活かした適切な提案

環境測定に関する定評ある海外製品を取り扱っており、これまでの経験とノウハウを駆使し、クリーンルームの環境測定など、お客様の環境測定ニーズに応じた適切な製品の選定と製品のユニット化を行い、提案している。また、装置の固定部品等は社内で設計、検査し供給している。

米国の Met One、Wedgewood、TSI ブランド並びにイタリアの VWR PBI ブランドの製品を取り扱っている。Met One ブランドのパーティクルカウンタ（微粒子計）は主に製薬業界や飲料業界で利用されている。

現在は国内での国際標準がまだ実現していない防塵・防毒マスクのフィット試験装置や人工呼吸器テストシステムの販売に力を入れている。いずれも TSI ブランドの防塵製品で、専門家やマスクメーカー等と国際標準規格の研究会を創設し、国内での国際標準の実現化を目指している。


 多機能レーザーパーティクルカウンタ
MetOne モデル 3400 シリーズ

 防塵、防毒マスクの顔面への密着性の試験装置
TSI PORTACOUNT PLUS Model 8030・8038

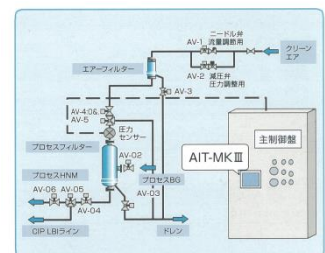
 高性能人工呼吸器テストシステム
TSI Certifier FA / Certifier FA plus


ニーズに的確に対応した自社製品開発

お客様のニーズに対応していくため、これまでの経験とノウハウにより、Ttanstech ブランドとして自社製品の開発も手掛けている。

その一つであるフィルタ完全性試験システムは、無菌医薬製造工程の薬液用メンブレンフィルタや無菌タンクバントフィルタの完全性試験を全自動で制御可能となっている。

その他、Ttanstech ブランドとして、ラ



フィルタ完全性試験システム AIT-MKIII

コトブキホームグループ
株式会社
コトブキホームビルダー

株式会社
コトブキホームビルダー

ものづくり表彰
2018 品川ビジネスクラブ
Shinagawa Business Club

高断熱・高気密で「健康長寿をつくる家」

東京中小企業家同友会品川支部推薦企業



代表取締役 林 学文

会社概要

本社

品川区小山 6-1-6

TEL

03-3760-2017

FAX

03-3760-2010

URL

<https://www.kotobuki-hs.com/>

<http://www.kotobuki-hb.jp/>

創業年

1987年

資本金

1,000万円

従業員

13人

事業内容

主要営業品目

高耐震・高気密・高断熱
住宅

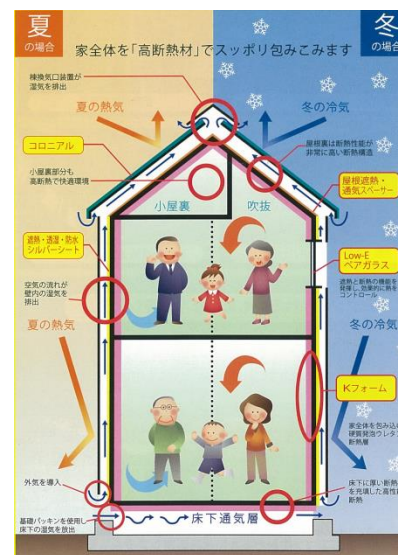
特徴

気密性基準の設定と気密
測定による高気密を実現

「タフ&エコシステム」の開発による家づくり

コトブキホームグループでは不動産管理から家づくりまで、住生活を総合的に支えている。その中で家づくりを担うコトブキホームビルダーは、安心してヒートショックのない快適な住生活を支えるタフ&エコシステムを開発し、夏涼しく冬暖かいコンフォर्टィオ(大いなる寛ぎ)ブランドで、「健康長寿をつくる家」をつくり続けている。

創業以来、培ってきた開発・施工技術を活かし、高耐震性に加えて、建物保温技術の要である高気密、高断熱、高遮熱を実現している。一般住宅では徹底されているケースが少ない構造計算も実施し、コンフォर्टィオは建築基準法の1.25倍の強さとなる耐震等級2以上、断熱性能等級4,1次エネルギー消費量等級5を、クリアしている。



コンフォर्टィオの構造

職人の育成・管理システムによる高気密・高断熱を実現

気密性、断熱性、耐震性、遮熱性など家の性能は施工に携わる職人の質に左右される面が大きい。創業当初より職人の育成を担う「コトブキ会」を設け、安定した高い施工水準を実現している。

気密性については気密測定装置を活用し、数値管理を実現している。気密性能(C値)は東北地域の水準(2.0 cm³/m²)よりも厳しい社内基準(1.5 cm³/m²)を設定し、徹底して管理している。実際には1.0 cm³/m²を下回っている場合も多い。こうした対応を行う中小住宅メーカーは少ない、長期優良住宅の基準もクリアしている。2020年に義務化が予定されている改正省エネ基準も十分にクリアしている。



気密測定状況